

元高松市議 (無所属・市民派)

植田 まきの 市政ニュース



「植田まき」でWEB検索を! <http://uetamaki.com/>



居眠り議会から先進議会へ

高松市議会は平均以下

日本経済新聞社産業地域研究所が、全国 813 市区議会を対象に第3回議会改革度調査を実施(2014年4~5月)。主に、議会の情報公開度、議会への住民参加、議会の運営方法を調査)。全国平均は 27.9 点(100 点満点中)ですが、高松市議会の得点は 27 点、総合偏差値は 49.22 で

**議会改革度
全国378位!**

改革の方向性

議員特権 をなくす

- ・市民感覚から大きくずれた議会出席手当は無用の支給。即、廃止を。
- ・ご褒美とも言える海外視察(一人あたりの予算60万円)は廃止を。

議論のできる 政治の場に

- ・本会議での「一問一答方式」、「反問権」の導入により活性化を。
- ・議員間討議を進め、行政のチェック、政策立案を活発に行う。

情報公開 を進める

- ・政務活動費の使い道は、「いつでも、どこでも、誰でも」見ることができるように。(ネット公開も)
- ・すべての会議、議事録の公開を。

身近な政治こそ 住民参加を

- ・請願、陳情者が直接説明する機会の保障と議事録への記載。
- ・議会報告会だけでなく、公聴会の開催、参考人制度の活用。

平均を下回っています。とりわけ、議会への住民参加度が低調で、高松市議会の改革は、全国的に見て遅れているということが示されました。

なぜ議会改革が必要?

私が議会改革にこだわるのは、二元代表制としての議会が機能せず、住民の方々が「誰がやっても同じ」「どうせ変わらない」と無関心になり、身近な政治に目を向けないのではないかという危機感からです。これからの時代は、財政が厳しい中で、あれもこれもという施策を行うことはできません。その時に、住民の声を聴いて、率先して政策立案ができる議会にする必要があります。

議員の雇い主はみなわんぱく。

《政務活動費問題 第3弾》

県議の政務活動費の用途

について監査請求しました!

香川県議会は、ようやく 2013 年度からすべての領収書を公開するようになりました。そこで明らかになったのが、「県民との意見交換会」という名目で、地元の団体等に会費として支出しており、2,360 件で計約 1,700 万円もありました。そのうち、意見交換会に参加したとされる日に議員本人が県内にいない可能性があるものが 72 件あったことが、市民オンブズ香川の調べで分かり、不適切な支出は返還するよう求めました。

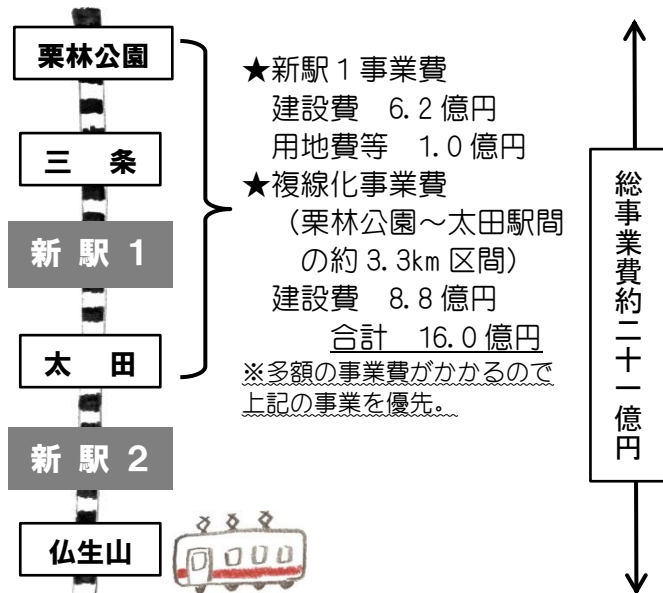


↑2/17 KSB のニュース番組より。他テレビや新聞で同様の報道あり。

将来的には新駅2つ+複線化に!

市議会の都市交通対策特別委員会で、ことでん新駅(三条～太田駅間)の基本構想案が示されました。いくつかの案の中、右で示した【新駅1・2+複線化(栗林公園～仏生山駅間)】の案について、これから進めていく方針です。

市は、今後の課題として、①事業費の確保、②新駅1(三条～太田駅間)の付帯施設整備、②新駅2(太田～仏生山駅間)の整備における太田駅の取り扱いを挙げていましたが、事業費に関しては重要な問題です。今回示された計画は、国からの財政支援を得るために急いだ感はありますが、今後どのような公共交通体系を作っていくのか、私自身もしっかり考えていこうと思います。



いよいよ4月は統一地方選挙 身近な政治に目を向けて!

地方から政治を変える!連続講座の3回目は、「市民派議員が議会を変える!～議会活動の手法やノウハウ」というテーマで、私が講師を務めました。2期8年、市民派議員として活動した経験から、市民が身近な政治に関わる意義、地方議会が抱える問題について、その改革の方向性を説明した後、参加者と意見交換をしました。

4月の統一地方選が近づいてきましたが、地方議会や議員の仕事について、ぜひ考えてみてください。



新米ママ まっきーの子育て日記③

娘の成長は目まぐるしく、日々、新しい発見があります。娘との時間も大切にしつつ、子育て世代の私たちが、しっかり社会や政治に関わり意思表示していくことの必要性を感じます。それは、毎日の生活すべてが政治と大きく関係しているからです。

子どもは、選挙で一票を投じるというかたちでは意思表示できません。だから、私たち大人には、子どもたちや次の世代に戦争や環境破壊、財政負担といったツケを回さない責任があります。私の横にベビーカーに乗せた娘と一緒に街頭演説をすることがありますが、ひとりの大人として親として、娘にはそんな姿を見せておきたいと思います。



植田まきってどんなやつ?

- ・1975年、高松市仏生山町で生まれ育つ。現在39歳。スポーツ大好き、体育会系。
- ・香川大学大学院(教育学)修了後、スポーツ指導員や中学校講師として働く。
- ・議員インターンが転機となり、「身近な政治の場を変えなきゃ!」と思い、中学校を退職し、27歳で最年少高松市議に。
- ・議員になってすぐ、「費用弁償」(議会出席手当)受け取り拒否。一貫して議員特権廃止、議会改革にこだわる。
- ・2期8年議員として活動し、3期目は立候補せず。2012～2年間、これまでの経験を活かし、立命館大学大学院(公共政策)で学ぶ。
- ・2014年8月、長女を出産。・市民団体「市民オンブズ香川」代表。

【植田まきの活動スタイル】

- ★政党や組織に属せず、自分の頭で考え行動します。
- ★個人後援会組織は作らず、すべての方々に情報発信。
- ★市民の視点で税金のムダ使いを正します。

「地方から政治を変える!」連続講座 第4回
映画「選挙2」上映会&トーク
3月15日(日)13:30～
@高松市男女共同参画センター

次々と「観察映画」の傑作を繰り出してきた想田和弘監督が、2007年の「選挙」に続き、「選挙2」では3・11後に行われた2011年の統一地方選挙が舞台に。東日本大震災とは何だったのか?民主主義とは何か?再び選挙のあり方を問いかけます。映画を通して、選挙について考えませんか?ご参加、お待ちしております♪

資料代:500円
主催:みどりの政策セミナー

※手配りで配布させていただいておりますので、タイムリーにお手元にお届けできない場合があります。ご了承ください。